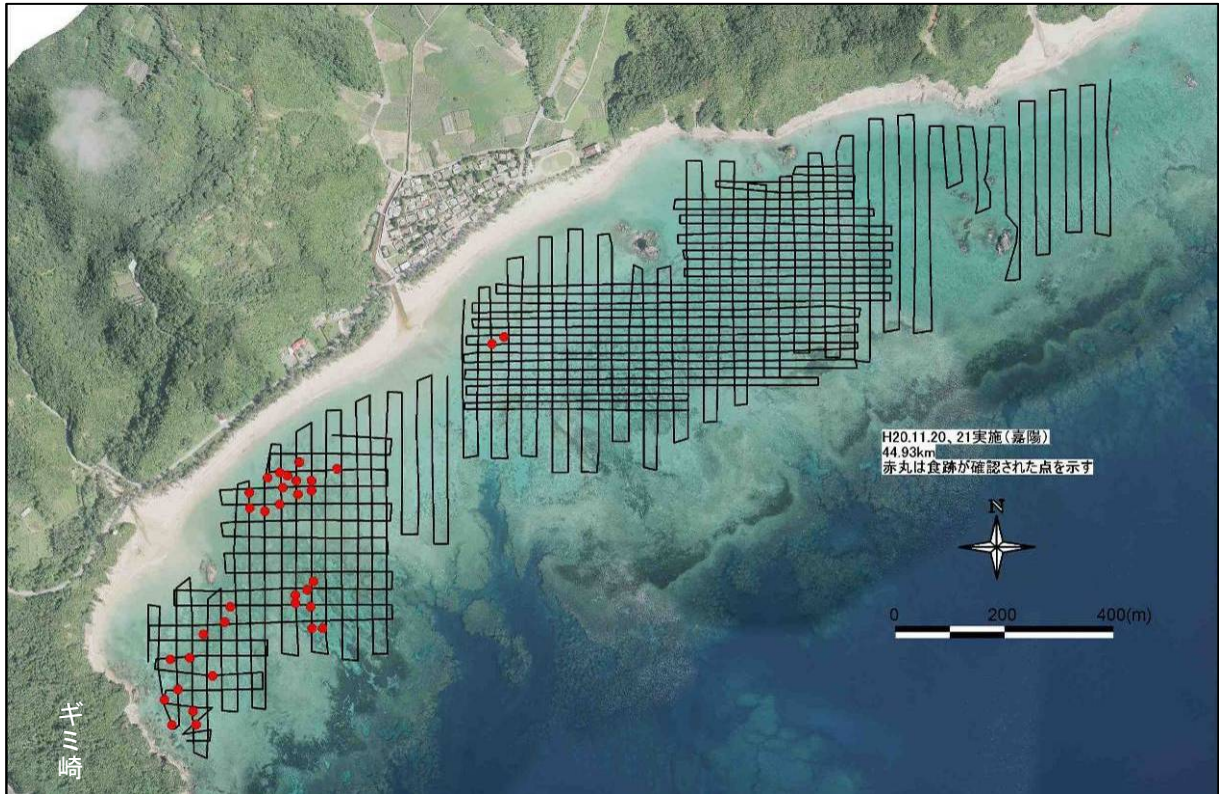


【平成 20 年度 第 17 回】



【平成 20 年度 第 18 回】

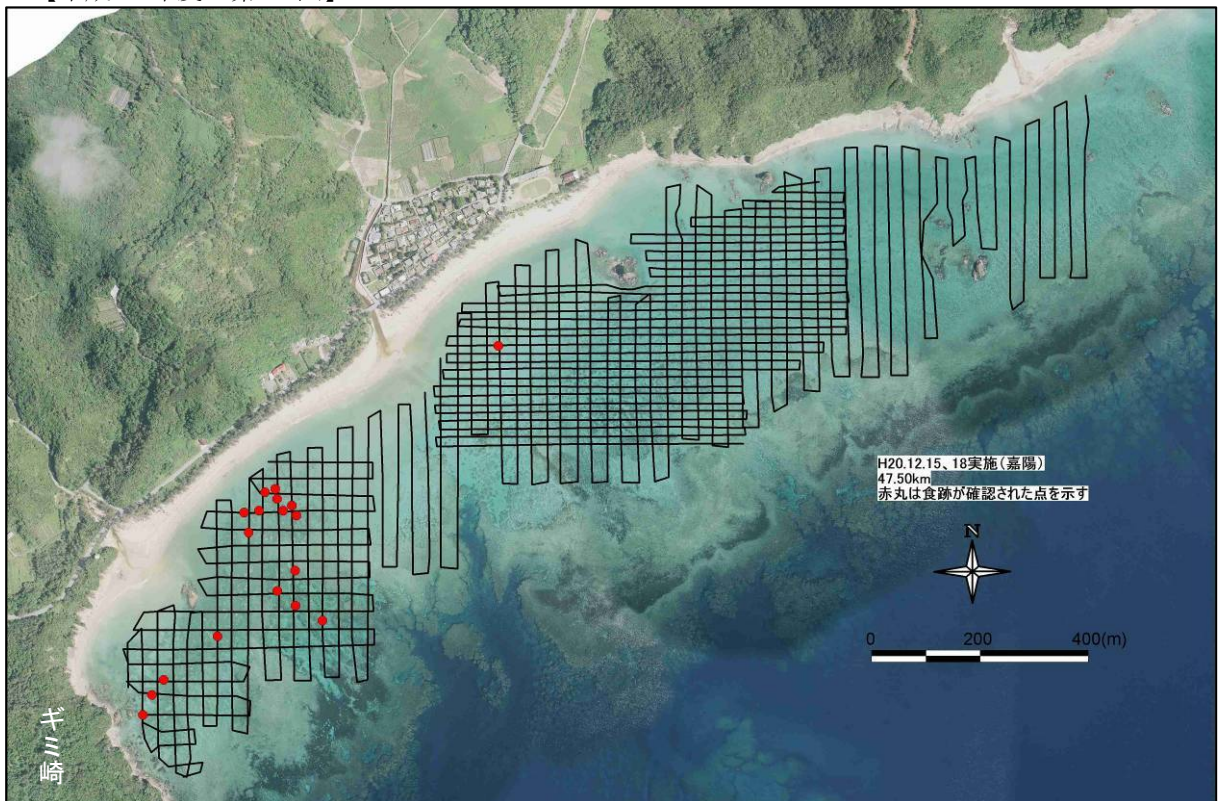
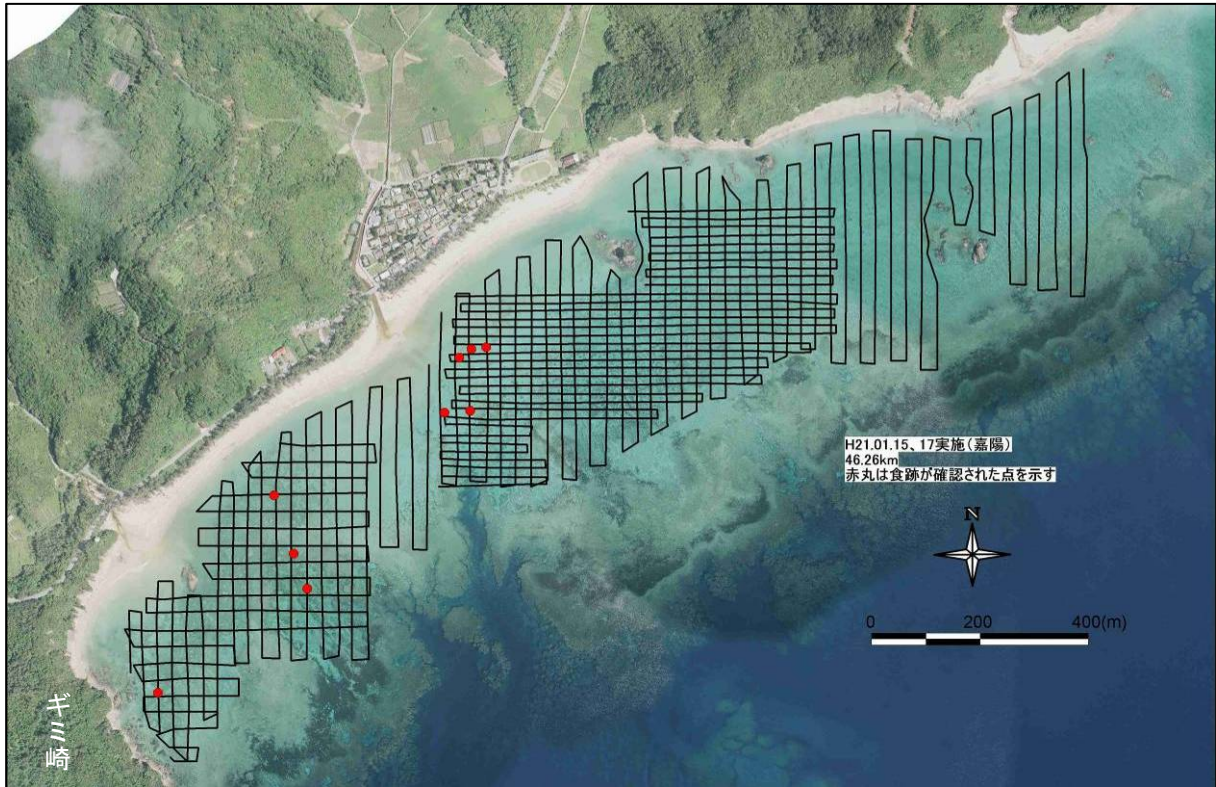


図-6. 16. 1. 10(5) 嘉陽地区におけるマンタ調査の航跡と食跡確認位置

- 注) 1. 調査回は平成 19 年度調査 (第 1~8 回) からの通算で示しています。
2. 他の調査地区では、平成 20 年 5 月 (第 11 回) に安部地区においてのみ食跡が確認されました。

【平成20年度 第19回】



【平成20年度 第20回】

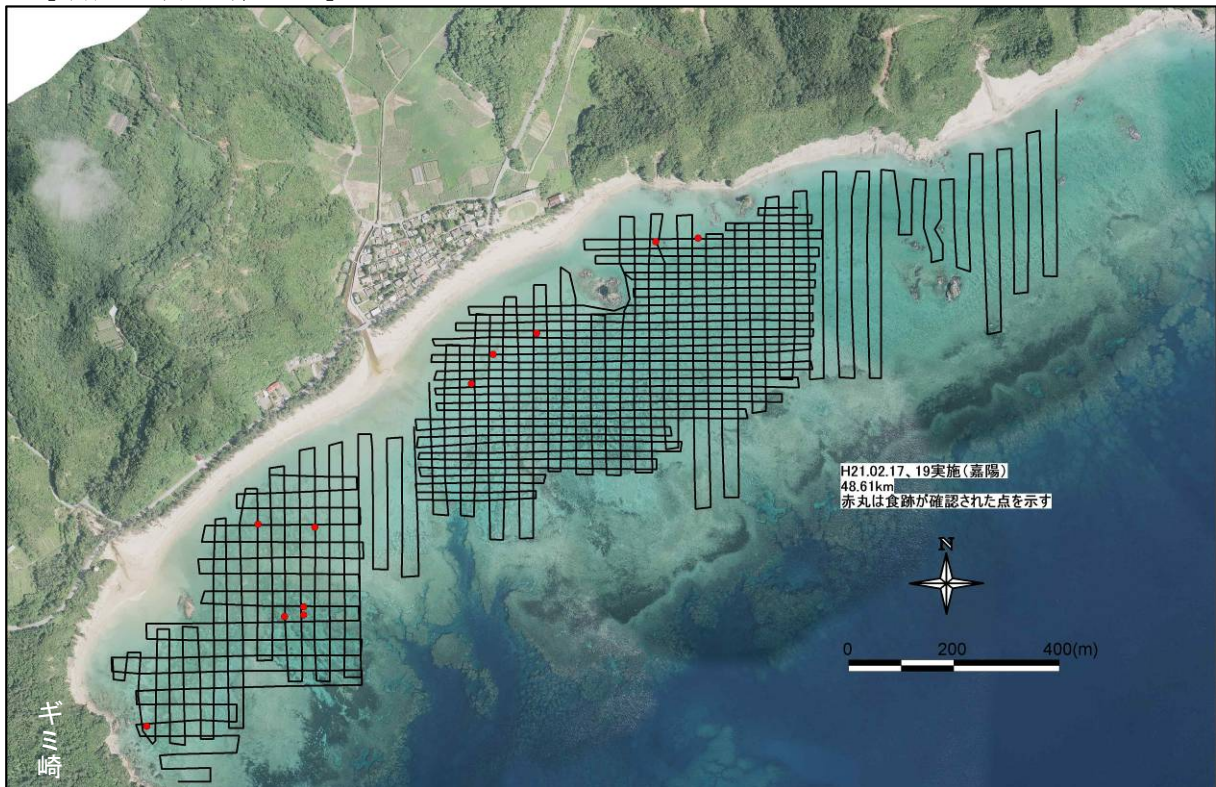


図-6.16.1.10(6) 嘉陽地区におけるマンタ調査の航跡と食跡確認位置

- 注) 1. 調査回は平成19年度調査(第1~8回)からの通算で示しています。
2. 他の調査地区では、平成20年5月(第11回)に安部地区においてのみ食跡が確認されました。

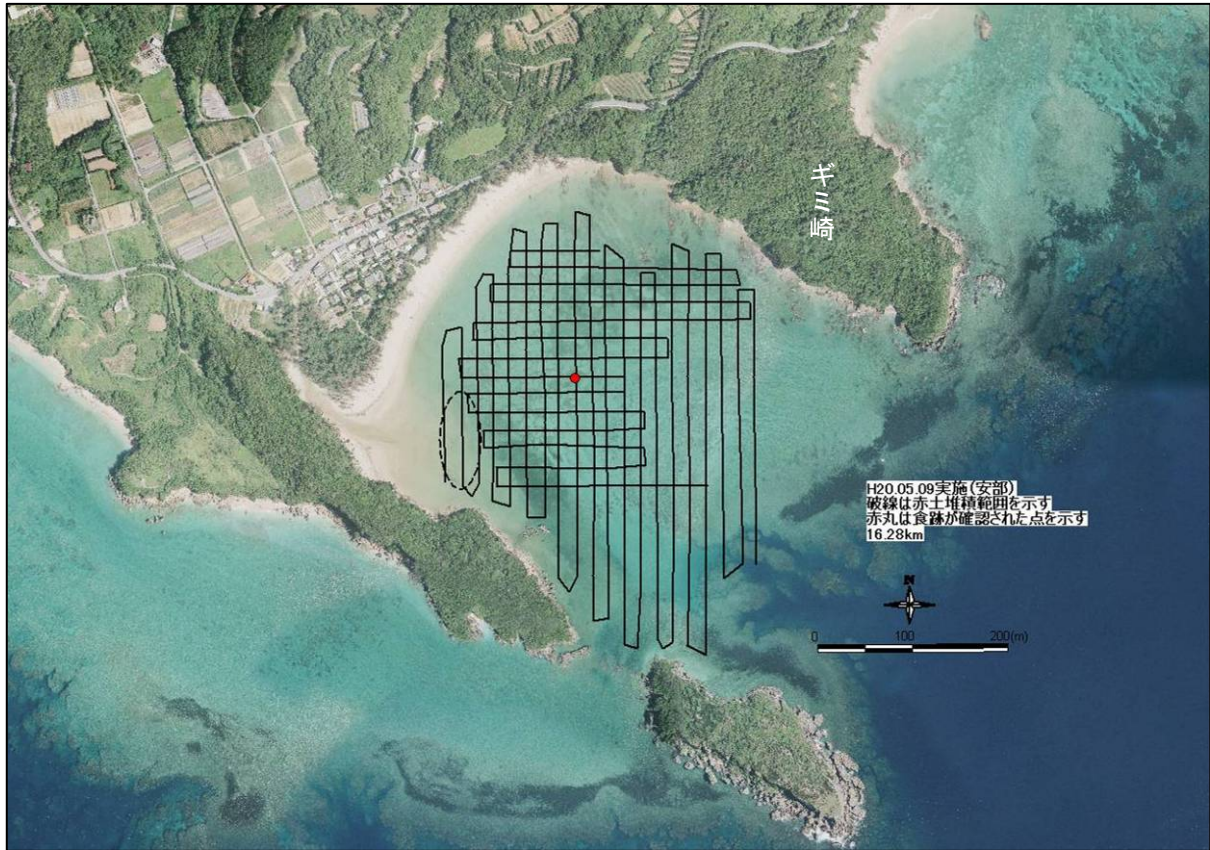


図-6.16.1.11 安部地区におけるマンタ調査の航跡と食跡確認位置

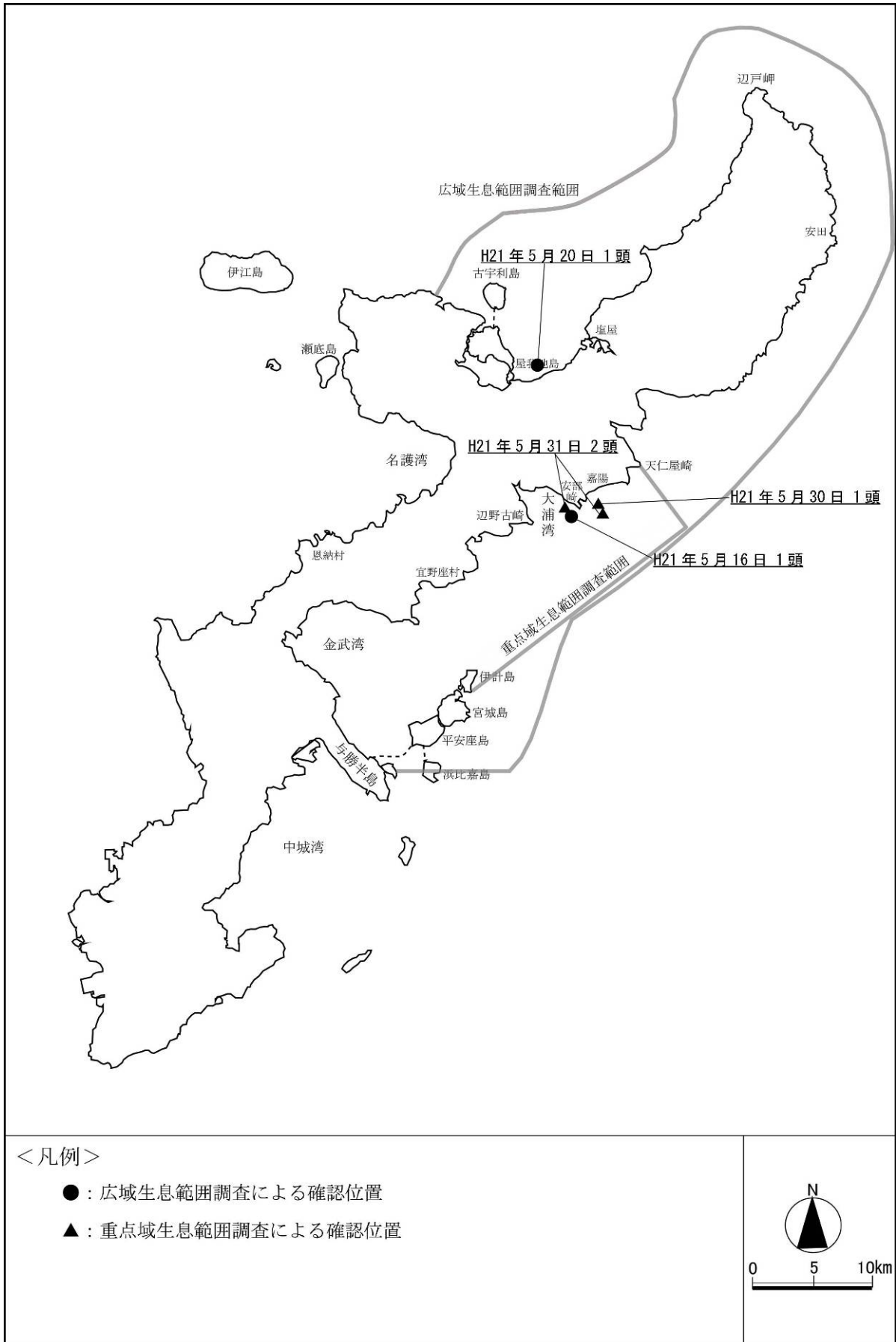


図-6.16.1.12(1) 航空調査によるジュゴン確認位置 (平成21年5月)

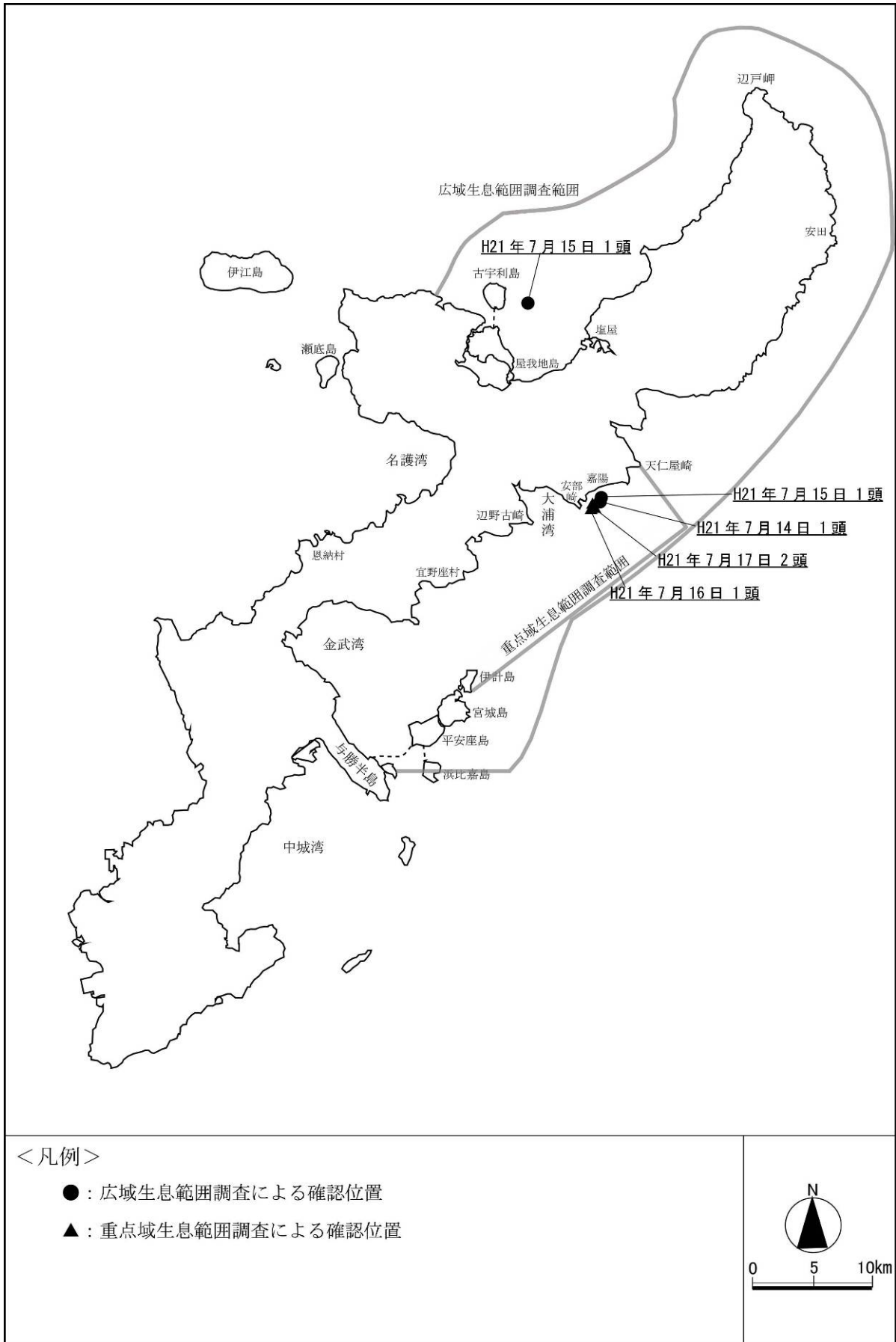


図-6.16.1.12(3) 航空調査によるジュゴン確認位置 (平成21年7月)

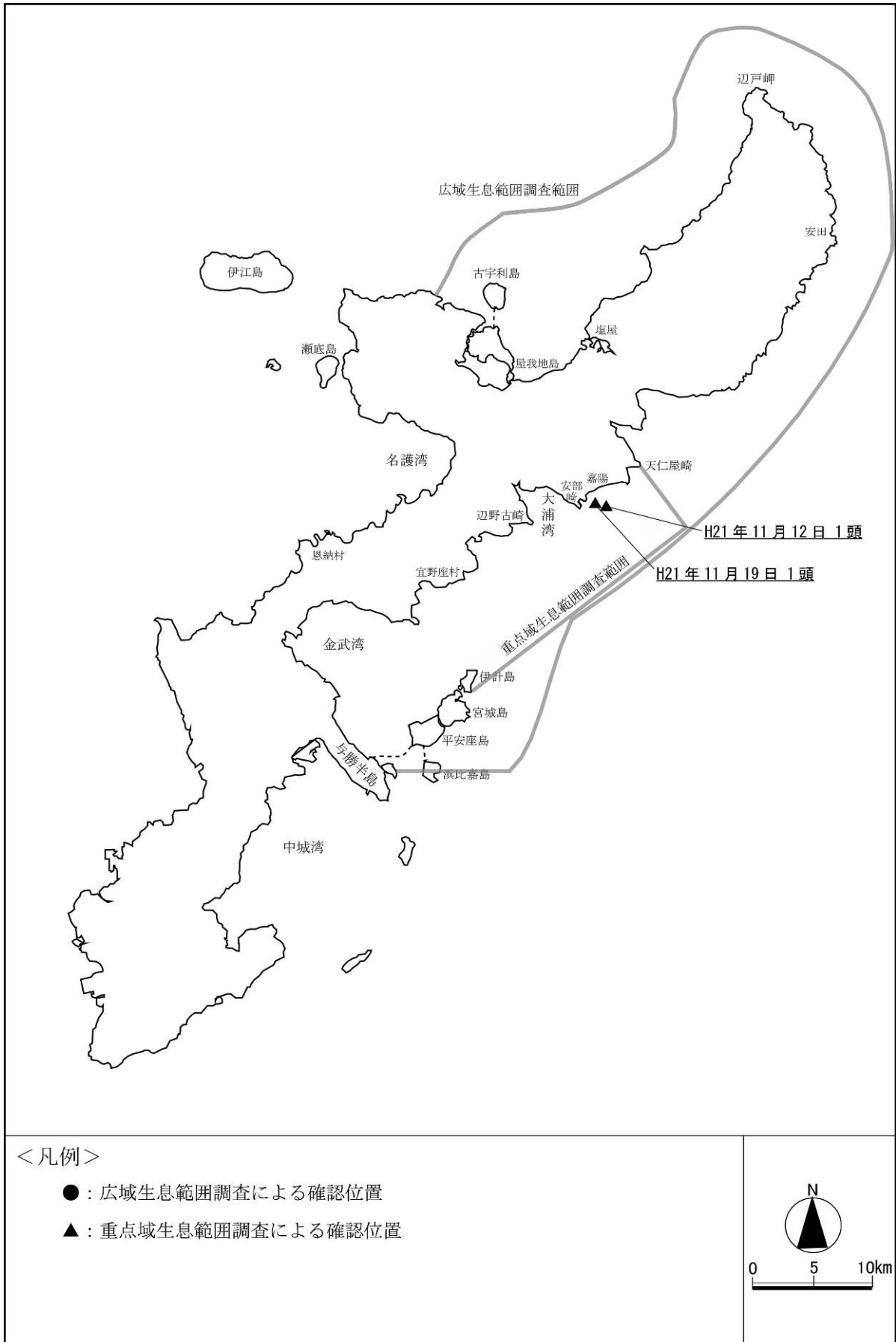


図-6.16.1.12(4) 航空調査によるジュゴン確認位置 (平成21年10~11月)

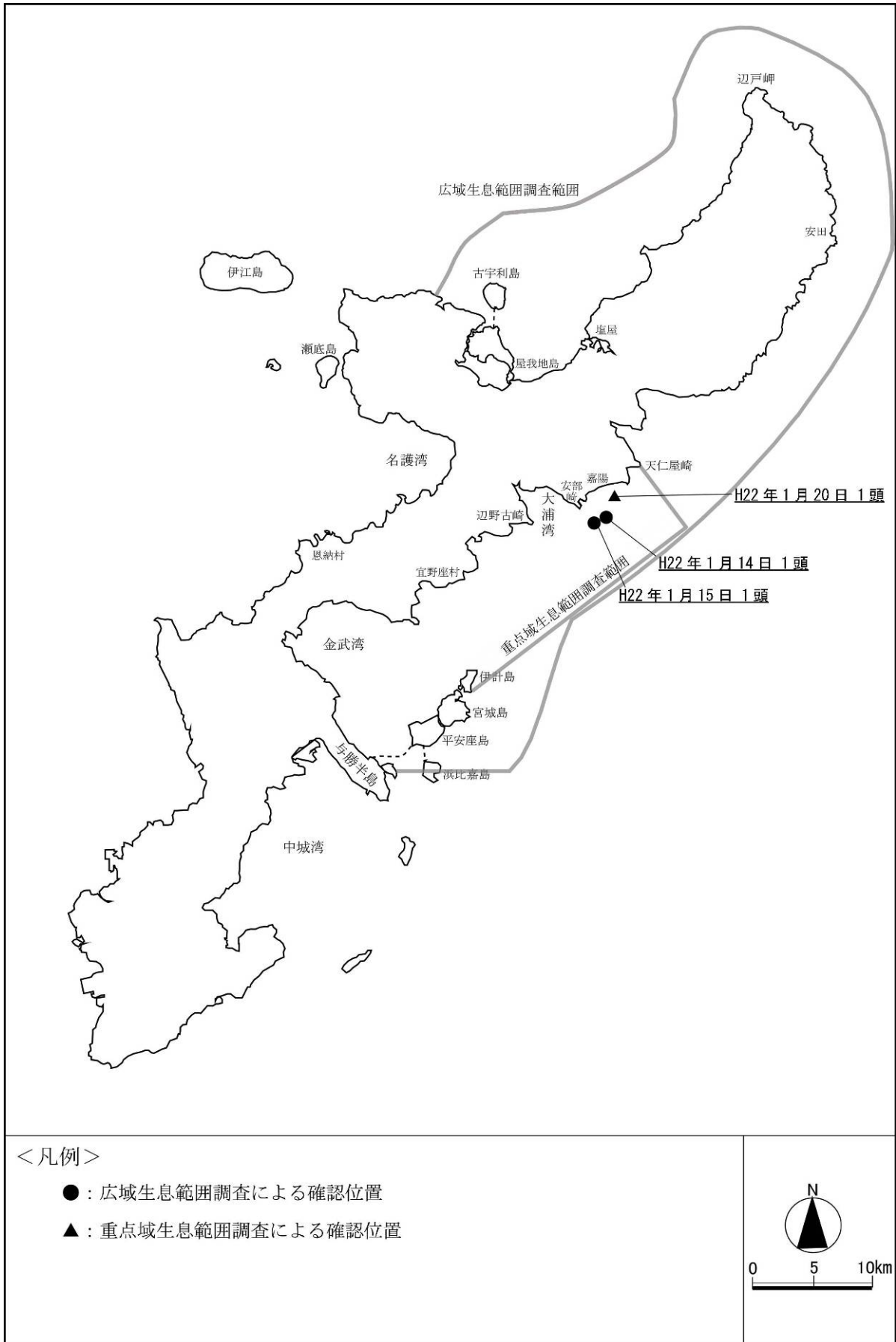


図-6.16.1.12(5) 航空調査によるジュゴン確認位置 (平成22年1月)

表-6. 16. 1. 3(1) ジュゴンの追跡調査結果概要 (平成 21 年度)

調査年	調査月日	追跡海域	追跡頭数	個体番号	成獣・幼獣の別	個体識別	開始時刻-終了時刻 (追跡時間)	観察概要
平成 21 年	5 月 16 日	嘉陽沖	1 頭	No.138	成獣	個体 C	14:00-18:35 (04:35)	ゆっくりと湾口から沖に向かい泳いでいたが、14 時 30 分頃反転し、湾奥に向かった。安部崎の南のリーフに達すると同じ場所で潜水を繰り返した。15 時 30 分頃から南へ向かい、湾口の瀬の縁で潜水を繰り返した。16 時頃、再び北上し、カヌチャベイ側のリーフに達すると、リーフに沿って北西へゆっくりと泳いだ。時々、深い潜水を繰り返す行動が見られた。ゆっくりと北西に移動し、汀間港の水路に達した。
	5 月 20 日	古宇利島沖	1 頭	No.139	成獣	個体 B	9:19-11:50 (02:31)	屋我地島の東沖(夫振岩の南側)をゆっくりと水面を泳いでいた。11 時頃より西に向かい、その後、水路を北上した。降雨による視界不良のため、11 時 50 分に追跡を中断した。15 時 50 分頃から、再び捜索したが、再確認はできなかった。
	5 月 30 日	嘉陽沖	1 頭	No.140	成獣	個体 A	9:13-18:44 (09:31)	18 時頃まで、ギミ崎から安部オール島の沖合を漂ったり、ゆっくり泳いだりしながら往き来していた。12 時から 14 時頃までは水面に浮かび、呼吸の時だけ鼻孔を水面に出すという行動が見られた。18 時頃から嘉陽沖の浅瀬からリーフの入り口方向にゆっくりと移動した。
	5 月 31 日	嘉陽沖	1 頭	No.141	成獣	個体 A	8:51-12:20 (03:39)	ギミ崎沖をときおり休息をしながら、ゆっくりと沖岸方向を往き来していた。11 時 40 分から 12 時までの間、ウミガメを激しく追い、抱き付く行動が見られた。
			1 頭	No.142	成獣	不明	15:03-15:22 (00:19)	安部崎の西約 1.4km において、大浦湾奥に向かって北西方向に泳ぐ 1 頭のジュゴンを確認した。15 時 20 分にヘリコプターに引き継いだ。直後に見失い、その後、再確認出来なかった。
	6 月 9 日	嘉陽沖	1 頭	No.143	成獣	個体 A	13:22-18:49 (05:27)	発見時は大浦湾口(安部崎の南約 0.9km)でほとんど動かず、休息を取っていた。13 時 40 分に船が接近し、また、その船が近くに留まったため、南東方向に泳ぎ、14 時頃、北東に転進し、ギミ崎沖に移動した。その後、休息をとったり、深く潜水したりしながら、しだいに嘉陽沖の浅瀬まで移動した。17 時頃から、ウミガメを激しく追い回し、抱き付く行動が見られ、調査終了時まで続けていた。
	6 月 10 日	嘉陽沖	1 頭	No.144	成獣	個体 A	16:00-18:42 (02:42)	ギミ崎の東約 2.3km の位置においてゆっくりとした速度で、水面近くを西方向(ギミ崎方向)に泳いでいた。16 時 30 分頃、休息を取るが、再び西に移動し、嘉陽沖の浅瀬まで達した。浅瀬を横断した後、リーフの口に向かった。リーフエッジに達するとリーフエッジに沿って東に移動するが、18 時 15 分頃、再び転進し、リーフの口に向かった。

注) 個体番号は平成 19 年度調査 (No.1~19) 及び 20 年度調査 (No.20~137) からの通算で示しています。

表-6. 16. 1. 3(2) ジュゴンの追跡調査結果概要 (平成 21 年度)

調査年	調査月日	追跡海域	追跡頭数	個体番号	成獣・幼獣の別	個体識別	開始時刻-終了時刻 (追跡時間)	観察概要
平成 21 年	6 月 19 日	嘉陽沖	1 頭	No.145	成獣	個体 A	13:51-17:57 (04:06)	ギミ崎の南東約 0.7km から岸に向かい、ゆっくりと移動したが、リーフに沿って延びる潮目 (多くのゴミが浮遊) に達したところで北東に転進した。15 時頃から 17 時頃まで、激しくウミガメを追い、抱き付く行動がみられた。17 時 20 分頃、嘉陽のリーフエッジまで移動し、その後、ゆっくり沖に向かい、嘉陽沖の浅瀬の近くで深く潜水し、見失った。その後、再確認はできず 18 時 35 分、調査を終了した。
			1 頭	No.146	成獣	不明	15:50-15:51 (00:01)	個体 A のすぐ近く、ギミ崎の東約 1.2km で、2 頭目のジュゴンを確認したが、すぐに深く潜水し、見失った。その後、再確認できず個体識別はできなかった。
	6 月 20 日	嘉陽沖	1 頭	No.147	成獣	個体 A	8:54-18:03 (09:09)	バン崎の東南東約 0.9km から南西方向にゆっくりとした速度で水面近くを泳ぎ、15 時頃、安部オール島沖に達したところで転進し、再び嘉陽沖に向かった。時々、漂うように休息を取る行動や、嘉陽の沖の浅瀬で深い潜水を繰り返す行動がみられた。16 時頃からは嘉陽沖の浅瀬の付近で漂うように休息を取る行動が続いた。
			1 頭	No.148	成獣	個体 C	14:40-18:48 (04:08)	バン崎の南南西約 1.0km を比較的速い速度で南西に泳ぎ、16 時 20 分頃には安部オール島を回り込み、大浦湾の中へ移動した。安部崎の南のリーフエッジで、深く潜水する行動がみられた。大浦湾に入ってから、リーフに沿ってゆっくりとした速度で深い潜水を繰り返しながら、湾奥へ移動した。
	7 月 14 日	嘉陽沖	1 頭	No.149	成獣	個体 A	15:59-18:45 (02:46)	ギミ崎の東約 1.0km から嘉陽沖の浅瀬の周辺をやや深めの水深を泳いでいた。18 時 30 分頃、嘉陽のリーフの口まで移動した。18 時 45 分に深い潜水を行い、その後、再確認できなかった。
	7 月 15 日	古宇利島沖	1 頭	No.150	成獣	個体 B	8:39-18:45 (10:06)	古宇利島の東南東約 2.1km から古宇利島の東側のリーフに沿って南に泳いでいた。水路部に入ると泳ぐ速度がゆっくりとなり、時々休息を取りながら南下した。12 時頃、屋我地島の沖まで達すると、西に転進し、リーフの中に入った。リーフ内のやや深めの場所で、6~7 分の長めの潜水を繰り返し、徐々に北に移動した。ほぼ同じ場所に繰り返し潜水し、海底に留まっていることから摂餌していると推測された。16 時頃からゆっくりと南東方向に移動し、水路のほぼ中央部で転進し北西にゆっくりと移動した。18 時 30 分頃リーフに達し、再び潜水を繰り返した。
		嘉陽沖	1 頭	No.151	成獣	個体 A	13:24-13:53 (00:29) 14:40-14:41 (00:01)	嘉陽のリーフ付近 (ギミ崎の東北東約 1.2km) から沖に向かってゆっくりと泳いでいた。古宇利島海域の個体を追跡のため、13 時 53 分にヘリコプターは追跡を終了した。小型航空機により、14 時 41 分、安部オール島の東で沖から安部オール島に向かってゆっくり泳ぐジュゴンを確認した。

注) 個体番号は平成 19 年度調査 (No.1~19) 及び 20 年度調査 (No.20~137) からの通算で示しています。

表-6. 16. 1. 3(3) ジュゴンの追跡調査結果概要 (平成 21 年度)

調査年	調査月日	追跡海域	追跡頭数	個体番号	成獣・幼獣の別	個体識別	開始時刻-終了時刻 (追跡時間)	観察概要
平成 21 年	7 月 16 日	嘉陽沖	1 頭	No.152	成獣	個体 A	14:47-18:44 (03:57)	ギミ崎の南東約 0.8km で水面近くを漂うように休息をとっていた。ギミ崎沖から嘉陽沖まで流されるように移動した。17 時頃からゆっくりとギミ崎方向に泳いで戻った。18 時頃、リーフに沿って、嘉陽のリーフの口に向かい 18 時 30 分頃から、口の縁で深い潜水を繰り返した。18 時 44 分に深く潜り、見失った。
	7 月 17 日	嘉陽沖	1 頭	No.153	成獣	個体 A	15:35-17:47 (02:12)	ギミ崎の南東約 0.9km をゆっくり東に泳いでいた。15 時 45 分頃、個体 C と最も接近したが、約 100m 離れていた。15 時 55 分頃、北西に転進し、嘉陽の沖の浅瀬で休息をとり、漂っていた。17 時 47 分に位置を確認した後、見失った。
			1 頭	No.154	成獣	個体 C	15:10-16:47 (01:37)	ギミ崎の東南東約 0.6km からゆっくり沖合方向(南東)に泳いでいた。15 時 50 分頃、反転し、ギミ崎に向かって泳ぎ、リーフエッジに達したところで見失った。
	11 月 12 日	嘉陽沖	1 頭	No. 155	成獣	個体 A	08:48~17:10 (08:22)	ギミ崎の東南東約 1.6km で休息を取っているジュゴンを確認した。その後、ゆっくりとした速度で、反時計回りに大きくギミ崎のリーフエッジ付近に移動した。11 時頃からは、時折、岸方向に戻ろうと泳ぐが体をほとんど動かさず、漂いながら沖合 1.5km 程まで流された。15 時 15 分から 30 分間、ウミガメを激しく追い回し、更に沖に移動した。15 時 45 分から、ゆっくりと岸方向に泳ぎ、17 時からは、嘉陽の礁縁の口に向かい積極的に泳ぎ始めた。
	11 月 19 日	嘉陽沖	1 頭	No. 156	成獣	個体 A	14:36~16:20 (00:58)	ギミ崎の東南東約 1.6km を礁縁に沿って北東にゆっくりと泳ぐジュゴンを確認した。15 時 50 分頃、嘉陽南東の礁縁部で止まり、深い潜水を繰り返した。16 時 20 分、深い潜水を行った。
平成 22 年	1 月 14 日	嘉陽沖	1 頭	No. 157	成獣	個体 A	08:56~17:26 (08:30)	安部オール島の沖合からギミ崎方向(北西)にゆっくり泳ぐジュゴンを確認した。ギミ崎の沖約 1.5km で約 30 分間、漂うように休息を取った後、バン崎の南約 1.5km まで北東にゆっくり泳いだ。11 時頃から 16 時頃まで、浅い深度(水深約 2m)で漂うように休息を取り、呼吸時のみ水面に鼻孔を出す行動を繰り返した。16 時頃からゆっくりと西方向に泳ぎ、嘉陽の礁縁に達した。礁縁に沿って深い潜水を繰り返しながら、安部オール島まで移動した。
	1 月 15 日	嘉陽沖	1 頭	No. 158	成獣	個体 A	10:48~17:00 (06:12)	安部オール島の沖合で漂うように休息をとるジュゴンを確認した。発見時から 15 時 20 分頃まで、浅い水深を漂い、潮に流されるように北東方向に移動した。近くに浮上したザトウクジラを避けるように早い速度で東に泳いだ。15 時 50 分頃から約 15 分間、ウミガメを追う行動が見られた。16 時 5 分頃、深い潜水を繰り返しながら、しっかりと泳ぎでギミ崎方向(西)に移動した。
	1 月 20 日	嘉陽沖	1 頭	No. 159	成獣	不明	10:23~11:02 (00:39)	ジュゴンはウミガメを追いながら、西にゆっくりと移動した。ウミガメを追い、深く潜水を繰り返した。

注) 個体番号は平成 19 年度調査 (No.1~19) 及び 20 年度調査 (No.20~137) からの通算で示しています。

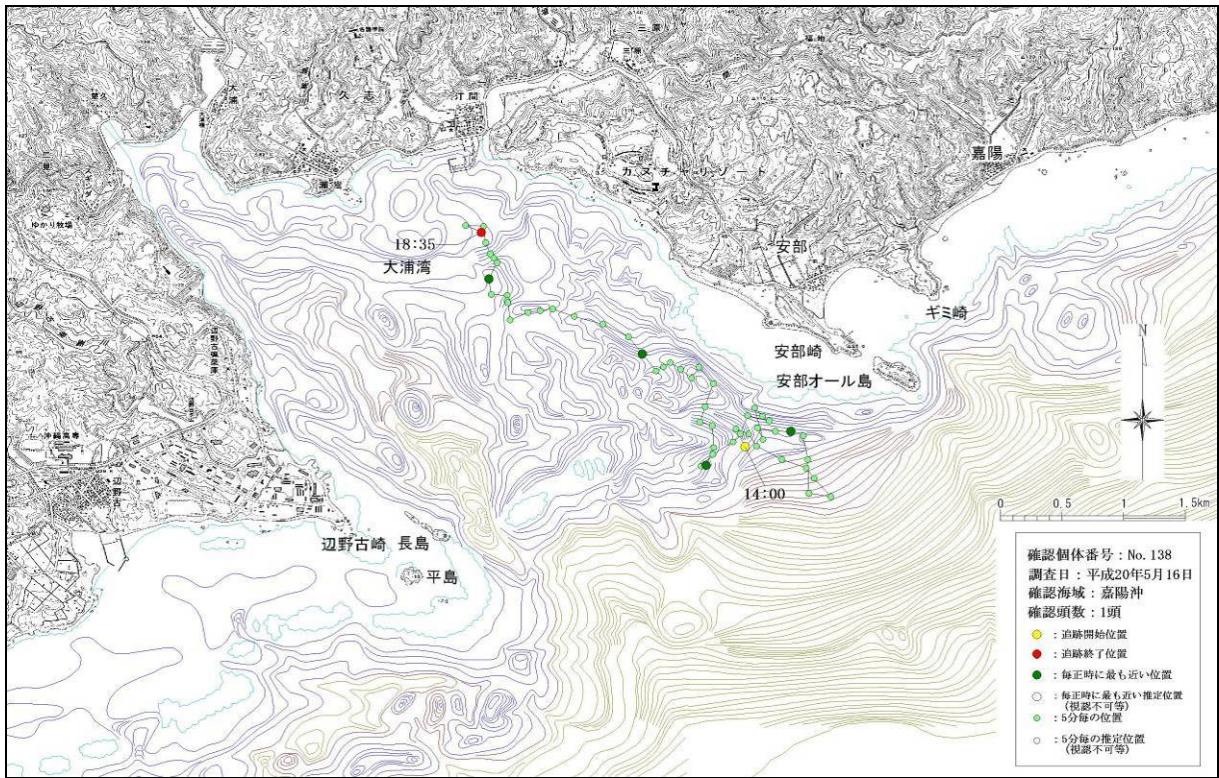


図-6.16.1.13(1) 嘉陽沖で確認された個体の行動軌跡(平成21年5月16日、No.138)

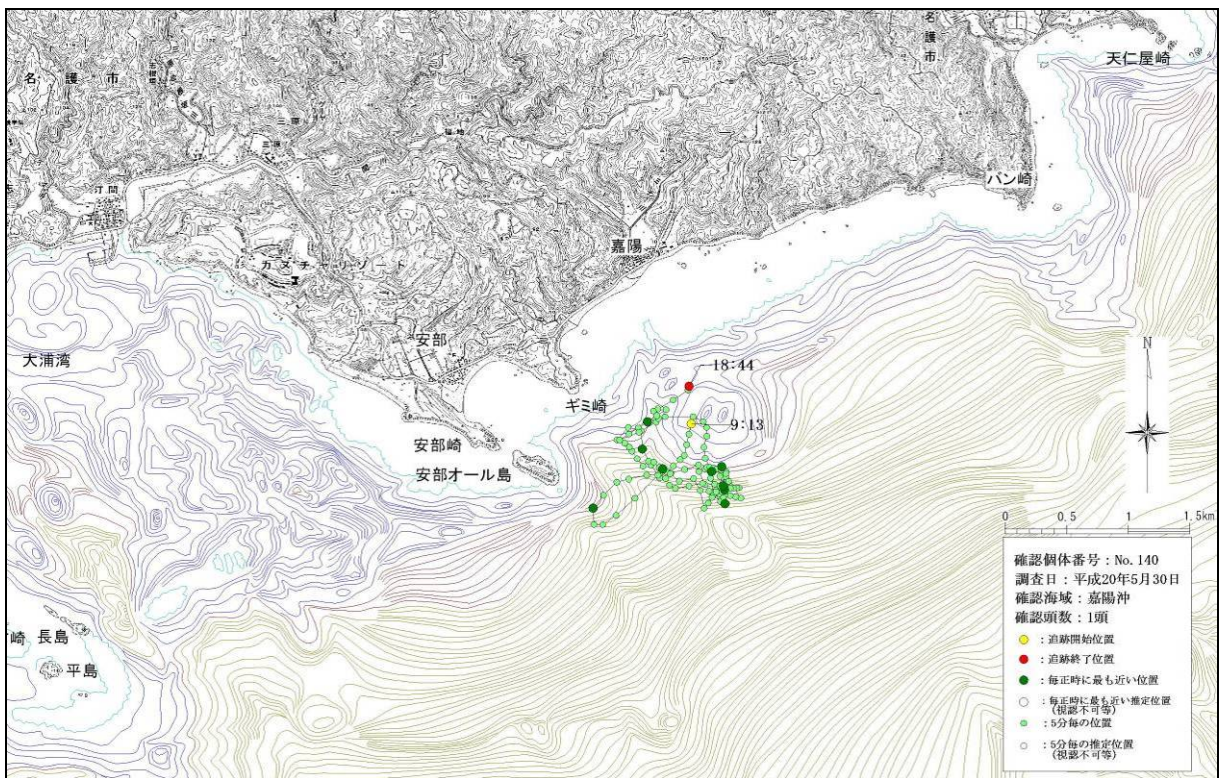


図-6.16.1.13(2) 嘉陽沖で確認された個体の行動軌跡(平成21年5月30日、No.140)

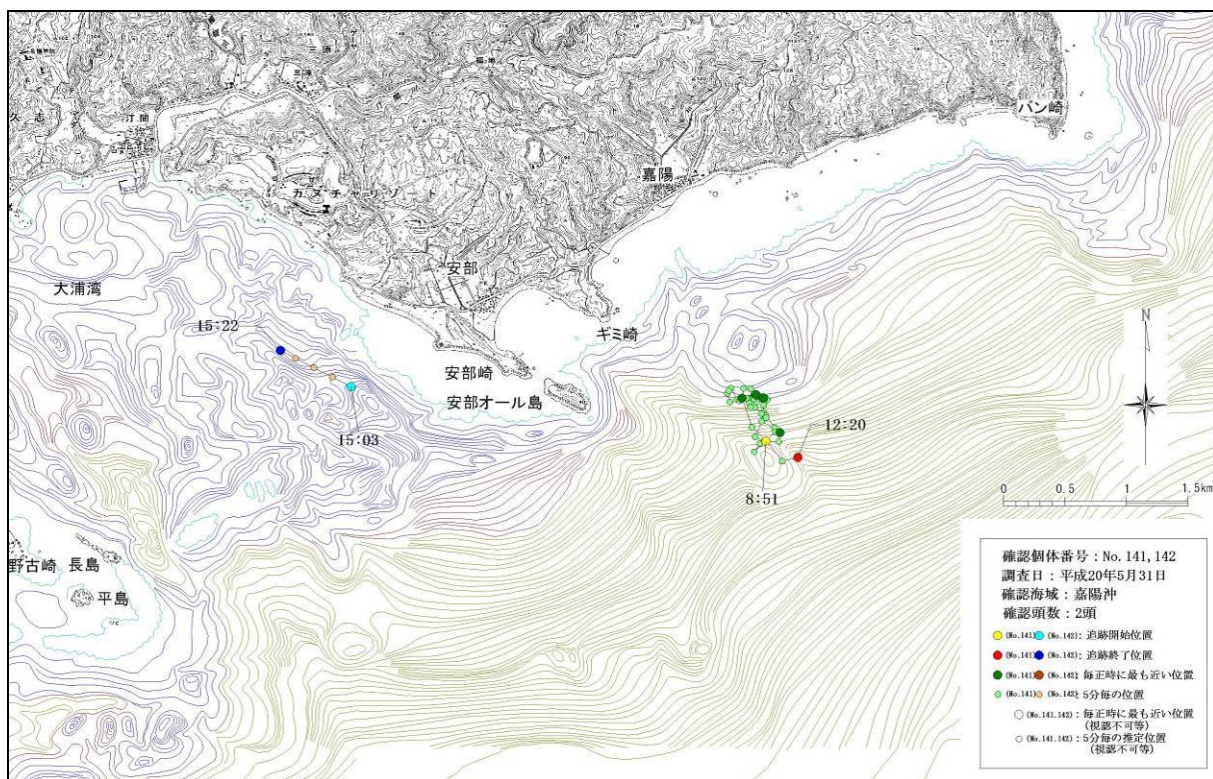


図-6. 16. 1. 13(3) 嘉陽沖で確認された個体の行動軌跡(平成21年5月31日、No.141、142)

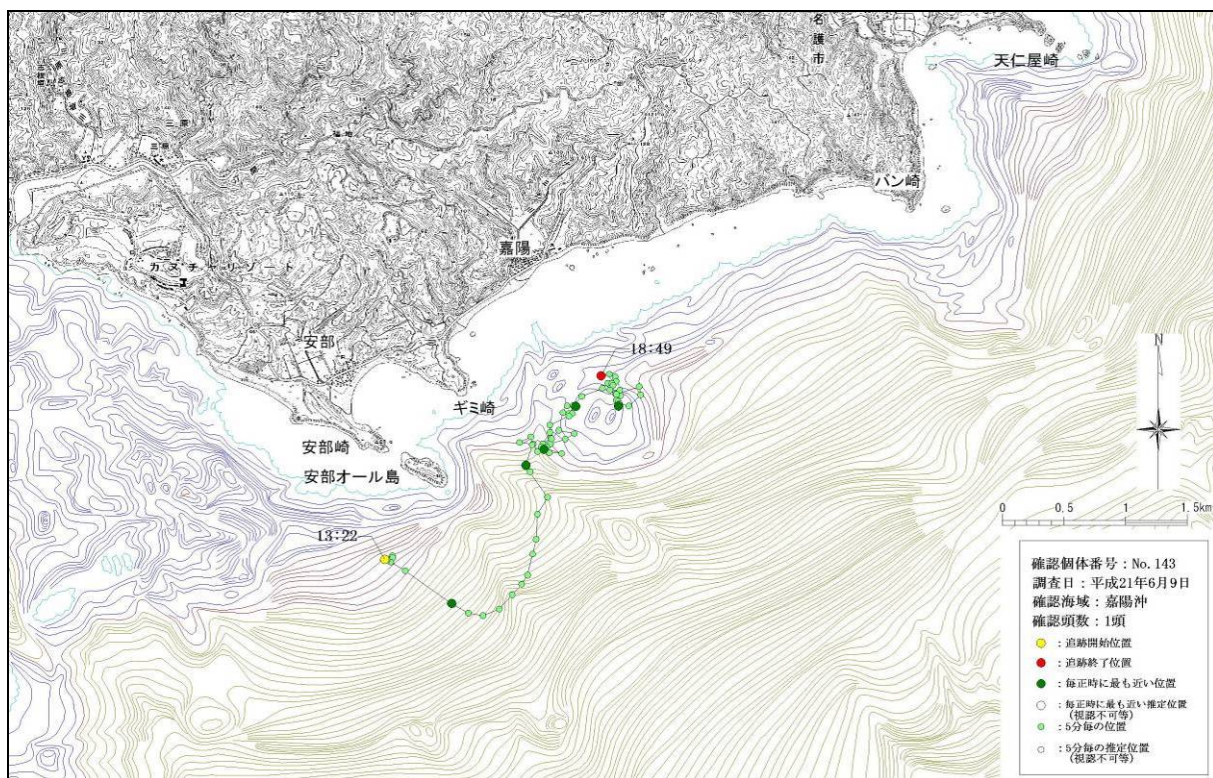


図-6. 16. 1. 13(4) 嘉陽沖で確認された個体の行動軌跡 (平成21年6月9日、No.143)

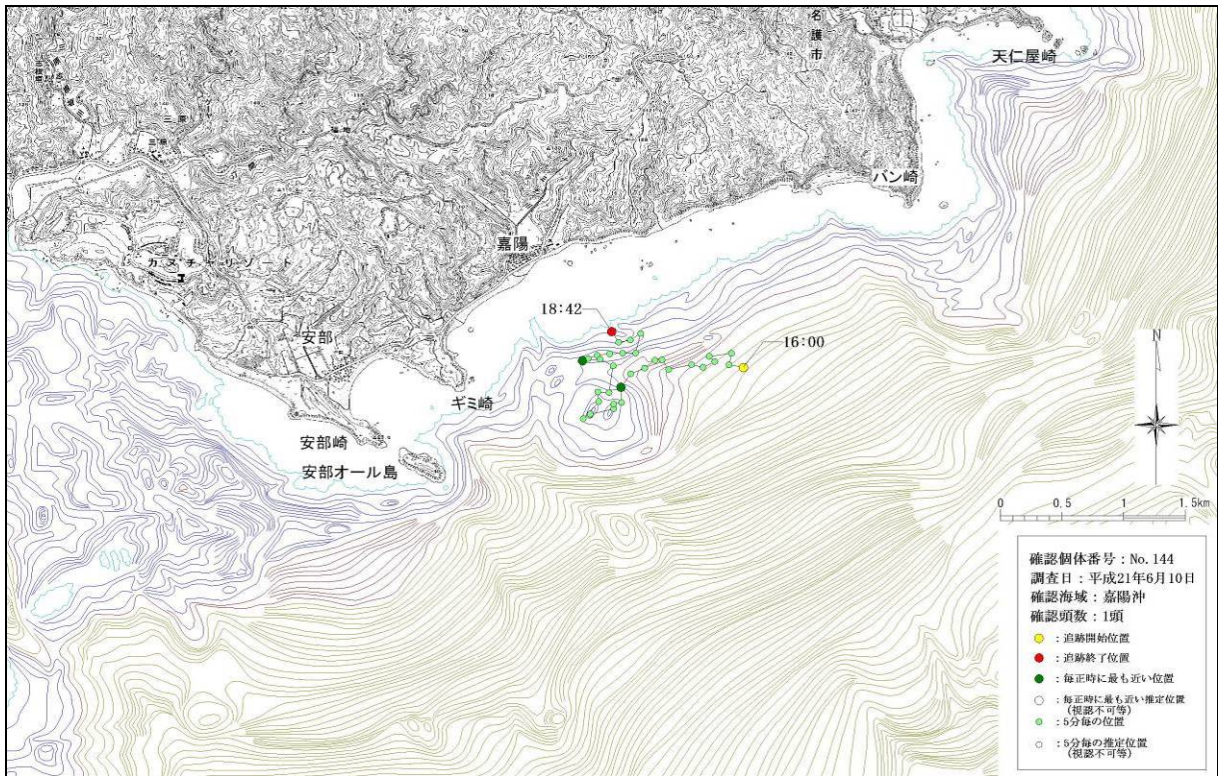


図-6. 16. 1. 13(5) 嘉陽沖で確認された個体の行動軌跡 (平成 21 年 6 月 10 日、No.144)

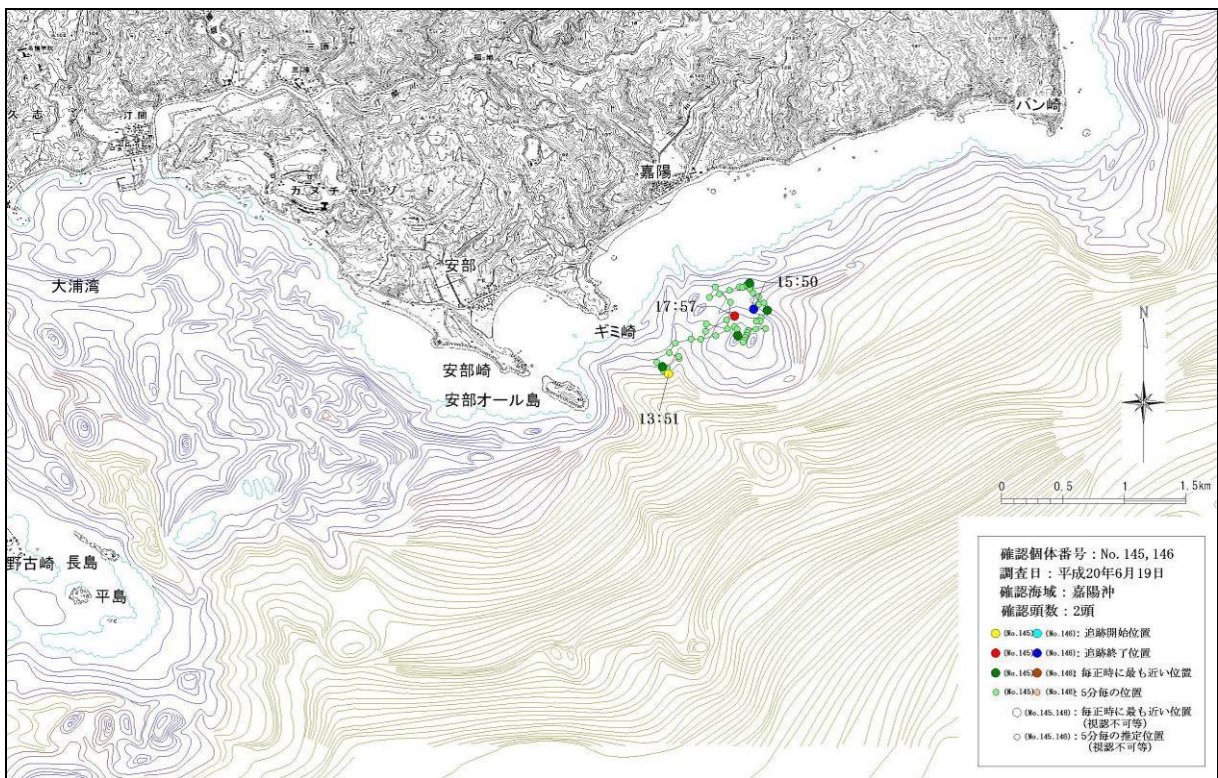


図-6. 16. 1. 13(6) 嘉陽沖で確認された個体の行動軌跡(平成 21 年 6 月 19 日、No.145、146)